

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	約10年間（2014年11月28日～2024年11月15日）
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／NB・ストラテジック・インカム・ファンド（※）」（以下「ストラテジック・インカム・ファンド（※）」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券（※）は、以下の各コースにおいて、次のように読み替えるものとします。 「米ドルコース」の場合…ノンヘッジ／N1クラス、「円コース」の場合…円ヘッジ／N1クラス、「世界通貨分散コース」の場合…通貨分散／N1クラス
運用方法	①主として、ストラテジック・インカム・ファンド（※）の受益証券を通じて、米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②当ファンドは、ストラテジック・インカム・ファンド（※）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、ストラテジック・インカム・ファンド（※）への投資割合を高位に維持することを基本とします。
運用方法	米ドルコース ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
	円コース ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）では、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。
	世界通貨分散コース ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）では、為替取引等を活用して、複数の通貨への投資成果の獲得をめざします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

# NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉

## 米ドルコース 円コース 世界通貨分散コース

### 運用報告書(全体版) 第3期

(決算日 2016年5月16日)

#### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉米ドルコース／円コース／世界通貨分散コース」は、このたび、第3期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先（コールセンター）  
TEL 0120-106212  
（営業日の9:00～17:00）  
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<3247>  
<3248>  
<3249>

## ★米ドルコース

## 設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	税 分	込 配	み 金	期 騰 落 中 率			
1 期末 (2015年 5月18日)	円		円	%	%	%	百万円
	10,117		0	1.2	0.1	99.5	1
2 期末 (2015年11月16日)	10,022		0	△ 0.9	0.0	99.4	93
3 期末 (2016年 5月16日)	9,010		0	△ 10.1	0.0	98.7	107

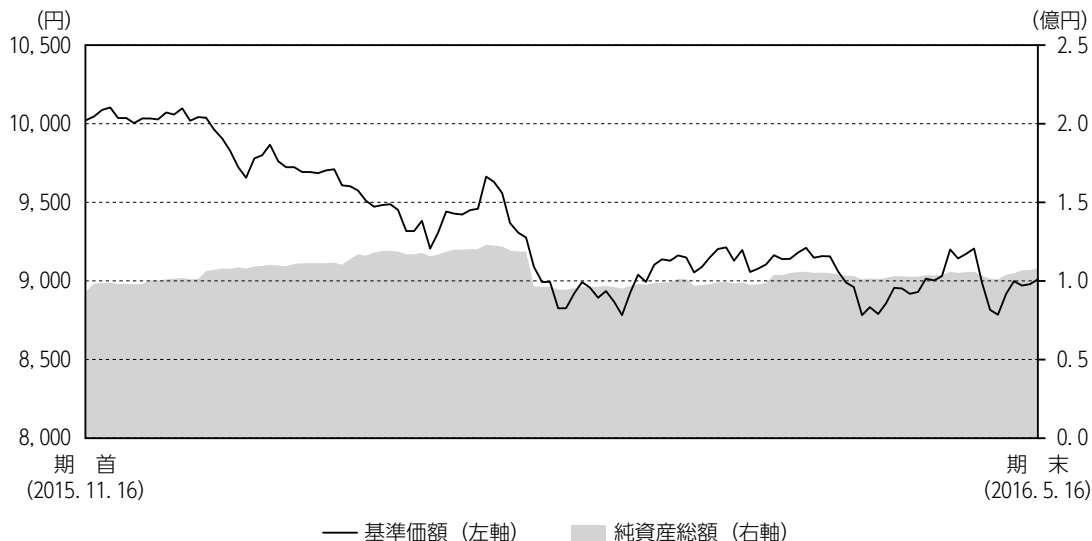
(注1) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

## 《運用経過》

## 基準価額等の推移について



## ■基準価額・騰落率

期首：10,022円

期末：9,010円

騰落率：△10.1%

## ■基準価額の主な変動要因

「ダイワ・プレミアム・トラスト・ダイワ／NB・ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）」（以下「ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）」といいます。）の受益証券を通じて、米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資し運用した結果、投資した債券等はおおむね堅調な推移となったものの、米ドルが対円で下落したことなどから、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉 米ドルコース

年 月 日	基 準 価 額		公 社 組 比	債 入 率	投 資 受 組	資 益 入	信 証 比	託 券 率
	騰 落 率							
(期 首) 2015年11月16日	円 10,022	% —		% 0.0				% 99.4
11月末	10,026	0.0		0.0				99.5
12月末	9,702	△ 3.2		0.0				99.6
2016年 1 月末	9,458	△ 5.6		0.0				99.6
2 月末	9,039	△ 9.8		0.0				99.4
3 月末	9,147	△ 8.7		—				99.7
4 月末	9,206	△ 8.1		0.0				99.7
(期 末) 2016年 5 月16日	9,010	△ 10.1		0.0				98.7

(注) 騰落率は期首比。

**投資環境について****○米国債券市況**

米国債券市況は、10年債利回りで見ると金利低下となりました。期首から2015年12月にかけては、おおむね横ばいでの推移となりました。2016年2月半ばにかけては、世界的な株価下落や原油安などから市場のリスク回避姿勢が高まり、金利は低下しました。その後は、株価や原油価格が回復し、市場のリスク回避姿勢が後退する場面での金利上昇圧力と、米国での利上げ観測の後退を受けた金利低下圧力に振られながら、おおむねレンジ内で推移して期末を迎えました。

クレジットセクターにおいては、期首から2016年2月にかけては多くのセクターが軟調に推移しましたが、その後はパフォーマンスが回復する展開となりました。

**○為替相場**

米ドル円為替相場は下落しました。期首より2016年1月にかけては、世界的な株価下落や軟調な原油価格などを受けてリスク回避姿勢が強まる中、円高米ドル安となりました。1月末には日銀が「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」の導入を決定し、円安米ドル高圧力が高まる場面も見られましたが、2月前半には市場のリスク回避姿勢が強まる中、再び円高米ドル安の展開となりました。その後は米国での追加利上げ観測の後退や、日銀が追加金融緩和の見送りを続けたことなどから円高米ドル安基調が続き、期末を迎えました。

**前期における「今後の運用方針」****○当ファンド**

ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）への投資割合を高位に保つことによって、米ドル建ての複数種別の債券等（※）に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

※国債・政府機関債、投資適格社債、ハイ・イールド社債、資産担保証券、バンクローン等です。

**○ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）**

米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

○**ダイワ・マネー・マザーファンド**

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

**ポートフォリオについて**

○**当ファンド**

当ファンドは、ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）の受益証券とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、期を通じてストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）の受益証券への投資割合を高位に維持しました。

○**ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）**

米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。債券種別では、クレジットセクターに対して積極的な組み入れを行ないました。

○**ダイワ・マネー・マザーファンド**

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないました。

**ベンチマークとの差異について**

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当期は、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を行ないませんでした。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2015年11月17日 ～2016年5月16日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	116

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 《今後の運用方針》

### ○当ファンド

ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）への投資割合を高位に保つことによって、米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンの最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

### ○ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）

米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンの最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

### ○ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2015. 11. 17～2016. 5. 16)		
	金 額	比 率	
信託報酬	22円	0. 231%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>期中の平均基準価額は9, 337円です。</b>
(投信会社)	(18)	(0. 188)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(3)	(0. 027)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(2)	(0. 016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	22	0. 235	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。



■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2015年11月17日から2016年5月16日まで)

	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 436.605	千円 53,293	千口 241.928	千円 28,330

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2015年11月17日から2016年5月16日まで)

当 期				期			
買 付 銘 柄	口 数	金 額	平均単価	売 付 銘 柄	口 数	金 額	平均単価
NB STRATEGIC INCOME FUND NON HEDGED N1 CLASS (ケイマン諸島)	436.605	53,293	122	NB STRATEGIC INCOME FUND NON HEDGED N1 CLASS (ケイマン諸島)	241.928	28,330	117

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

(2015年11月17日から2016年5月16日まで)

決 算 期	当 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
区 分	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	68,462	4,000	5.8	11,349	—	—
コール・ローン	2,548,927	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

期首保有額	期中設定額	期中解約額	期末保有額	取 引 の 理 由
百万円	百万円	百万円	百万円	当初設定時における取得とその処分
1	—	1	—	

(注1) 金額は元本ベース。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) NB STRATEGIC INCOME FUND NON HEDGED N1 CLASS	916.211	106,564	98.7

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。  
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首			当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	0	0		0	0	1

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年5月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	106,564	98.5
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	1,601	1.5
投資信託財産総額	108,166	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年5月16日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	108,166,954円
コール・ローン等	1,601,379
投資信託受益証券 (評価額)	106,564,575
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	1,000
(B) 負債	247,346
未払信託報酬	243,200
その他未払費用	4,146
(C) 純資産総額 (A - B)	107,919,608
元本	119,778,850
次期繰越損益金	△ 11,859,242
(D) 受益権総口数	119,778,850口
1万口当り基準価額 (C/D)	9,010円

\* 期首における元本額は93,334,534円、当期中における追加設定元本額は58,521,193円、同解約元本額は32,076,877円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,010円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は11,859,242円です。

■損益の状況

当期 自2015年11月17日 至2016年5月16日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	171円
受取利息	183
支払利息	△ 12
(B) 有価証券売買損益	△ 9,114,538
売買益	2,095,231
売買損	△ 11,209,769
(C) 信託報酬等	△ 247,346
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 9,361,713
(E) 前期繰越損益金	△ 387,441
(F) 追加信託差損益金	△ 2,110,088
(配当等相当額)	( 1,392,346)
(売買損益相当額)	(△ 3,502,434)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 11,859,242
次期繰越損益金 (G)	△ 11,859,242
追加信託差損益金	△ 2,110,088
(配当等相当額)	( 1,392,346)
(売買損益相当額)	(△ 3,502,434)
分配準備積立金	8,588
繰越損益金	△ 9,757,742

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は10ページの「収益分配金の計算過程 (総額)」の表を参照。

## ■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	1,392,346
(d) 分配準備積立金	8,588
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,400,934
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,400,934
(h) 受益権総口数	119,778,850□

## ★円コース

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額				公社債 組入比率	投資 組入	信託 証比率	純資 産額
	円	税金 分配 み金	期 騰落	中 率				
1 期末 (2015年 5月18日)	10,057	0		0.6	0.1		99.5	1
2 期末 (2015年11月16日)	9,661	0	△	3.9	0.0		99.5	102
3 期末 (2016年 5月16日)	9,721	0		0.6	0.0		99.6	154

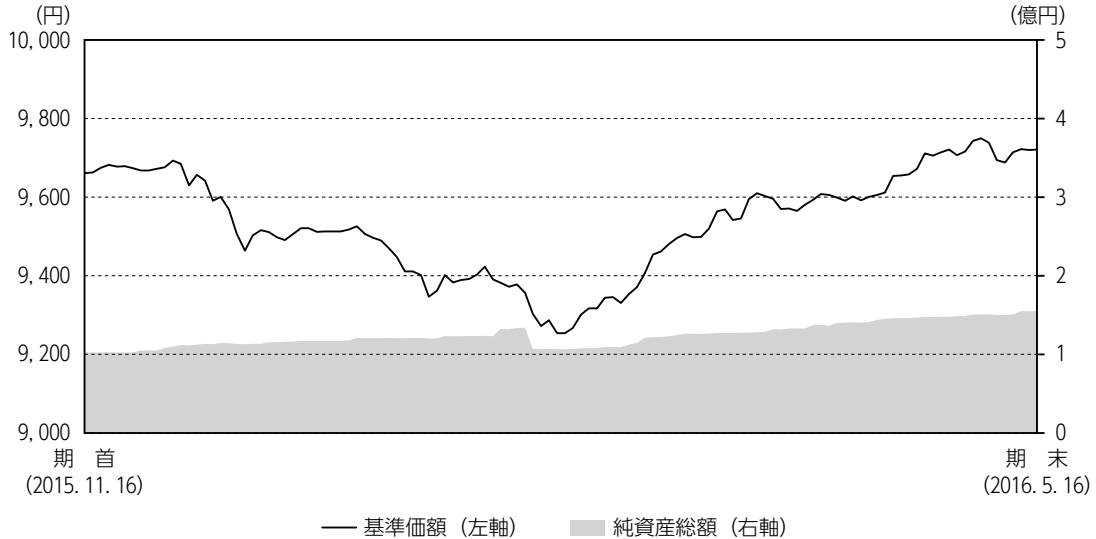
(注1) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

## 《運用経過》

## 基準価額等の推移について



## ■ 基準価額・騰落率

期首：9,661円

期末：9,721円

騰落率：0.6%

## ■ 基準価額の主な変動要因

「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ/NB・ストラテジック・インカム・ファンド (円ヘッジ/N1クラス)」(以下「ストラテジック・インカム・ファンド (円ヘッジ/N1クラス)」といいます。)の受益証券を通じて、米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資し、為替ヘッジを行ない運用した結果、投資した債券等がおおむね堅調な推移となったことなどから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉 円コース

年 月 日	基 準 価 額		公 社 組 比	債 入 率	投 資 受 組	資 益 入	信 証 比	託 券 率
	騰 落 率							
(期 首) 2015年11月16日	円 9,661	% —		% 0.0				% 99.5
11月末	9,672	0.1		0.0				99.5
12月末	9,513	△ 1.5		0.0				99.5
2016年 1 月末	9,403	△ 2.7		0.0				99.6
2 月末	9,371	△ 3.0		0.0				98.0
3 月末	9,593	△ 0.7		—				96.6
4 月末	9,743	0.8		0.0				98.7
(期 末) 2016年 5 月16日	9,721	0.6		0.0				99.6

(注) 騰落率は期首比。

## 投資環境について

### ○米国債券市況

米国債券市況は、10年債利回りで見ると金利低下となりました。期首から2015年12月にかけては、おおむね横ばいでの推移となりました。2016年2月半ばにかけては、世界的な株価下落や原油安などから市場のリスク回避姿勢が高まり、金利は低下しました。その後は、株価や原油価格が回復し、市場のリスク回避姿勢が後退する場面での金利上昇圧力と、米国での利上げ観測の後退を受けた金利低下圧力に振られながら、おおむねレンジ内で推移して期末を迎えました。

クレジットセクターにおいては、期首から2016年2月にかけては多くのセクターが軟調に推移しましたが、その後はパフォーマンスが回復する展開となりました。

### ○短期金利市況

短期金利市況は、日本では日銀が2016年1月に「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」の導入を決定しました。

一方、米国では2015年12月のFOMC（米国連邦公開市場委員会）において、政策金利の誘導目標レンジの0.25～0.50%への引き上げが決定されました。

## 前期における「今後の運用方針」

### ○当ファンド

ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）への投資割合を高位に保つことによって、米ドル建ての複数種別の債券等（※）に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンの最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

※国債・政府機関債、投資適格社債、ハイ・イールド社債、資産担保証券、バンクローン等です。

### ○ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）

米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンの最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

○**ダイワ・マネー・マザーファンド**

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

**ポートフォリオについて**

○**当ファンド**

当ファンドは、ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）の受益証券とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、期を通じてストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）の受益証券への投資割合を高位に維持しました。

○**ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）**

米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。債券種別では、クレジットセクターに対して積極的な組み入れを行ないました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないました。

○**ダイワ・マネー・マザーファンド**

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないました。

**ベンチマークとの差異について**

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。



## 分配金について

当期は、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を行いませんでした。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2015年11月17日 ～2016年5月16日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	107

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 《今後の運用方針》

### ○当ファンド

ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）への投資割合を高位に保つことによって、米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

### ○ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）

米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

### ○ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2015. 11. 17~2016. 5. 16)		
	金 額	比 率	
信託報酬	22円	0.231%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>期中の平均基準価額は9,534円です。</b>
(投信会社)	(18)	(0.188)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(3)	(0.027)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(2)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	22	0.235	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ■売買および取引の状況

## 投資信託受益証券

(2015年11月17日から2016年5月16日まで)

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 771.278	千円 78,456	千口 277.654	千円 27,600

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ■主要な売買銘柄

## 投資信託受益証券

(2015年11月17日から2016年5月16日まで)

当				期			
銘 柄	買 付			売 付			平均単価
	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	
NB STRATEGIC INCOME FUND JPY HEDGED N 1 CLASS (ケイマン諸島)	千口 771.278	千円 78,456	円 101	NB STRATEGIC INCOME FUND JPY HEDGED N 1 CLASS (ケイマン諸島)	千口 277.654	千円 27,600	円 99

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ■利害関係人との取引状況

## (1) 当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

## (2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

(2015年11月17日から2016年5月16日まで)

決 算 期	当 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 68,462	百万円 4,000	% 5.8	百万円 11,349	百万円 —	% —
コール・ローン	2,548,927	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

## (3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

## ■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

期首保有額	期中設定額	期中解約額	期末保有額	取 引 の 理 由
百万円 1	百万円 —	百万円 1	百万円 —	当初設定時における 取得とその処分

(注1) 金額は元本ベース。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) NB STRATEGIC INCOME FUND JPY HEDGED N1 CLASS	1,483.592	154,306	99.6

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。  
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首			当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	0	0	1	0	0	1

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年5月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	154,306	99.4
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	975	0.6
投資信託財産総額	155,283	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年5月16日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	155,283,488円
コール・ローン等	975,566
投資信託受益証券(評価額)	154,306,922
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	1,000
(B) 負債	293,322
未払信託報酬	288,388
その他未払費用	4,934
(C) 純資産総額(A-B)	154,990,166
元本	159,444,733
次期繰越損益金	△ 4,454,567
(D) 受益権総口数	159,444,733口
1万口当り基準価額(C/D)	9,721円

\*期首における元本額は106,047,131円、当期中における追加設定元本額は84,254,234円、同解約元本額は30,856,632円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は9,721円です。

\*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は4,454,567円です。

■損益の状況

当期 自2015年11月17日 至2016年5月16日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	133円
受取利息	175
支払利息	△ 42
(B) 有価証券売買損益	2,301,261
売買益	3,158,965
売買損	△ 857,704
(C) 信託報酬等	△ 293,322
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,008,072
(E) 前期繰越損益金	△ 1,201,000
(F) 追加信託差損益金	△ 5,261,639
(配当等相当額)	( 902,614)
(売買損益相当額)	(△ 6,164,253)
(G) 合計(D+E+F)	△ 4,454,567
次期繰越損益金(G)	△ 4,454,567
追加信託差損益金	△ 5,261,639
(配当等相当額)	( 902,614)
(売買損益相当額)	(△ 6,164,253)
分配準備積立金	807,072

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は20ページの「収益分配金の計算過程(総額)」の表を参照。

## ■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	104円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	802,610
(c) 収益調整金	902,614
(d) 分配準備積立金	4,358
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,709,686
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,709,686
(h) 受益権総口数	159,444,733口

## ★世界通貨分散コース

## 設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	税 分	込 配	み 金	期 騰 落 中 率			
	円		円		%	%	百万円
1 期末 (2015年 5月18日)	9,444		0	△ 5.6	0.0	99.5	11
2 期末 (2015年11月16日)	8,643		0	△ 8.5	0.0	99.5	19
3 期末 (2016年 5月16日)	7,934		0	△ 8.2	0.0	99.3	18

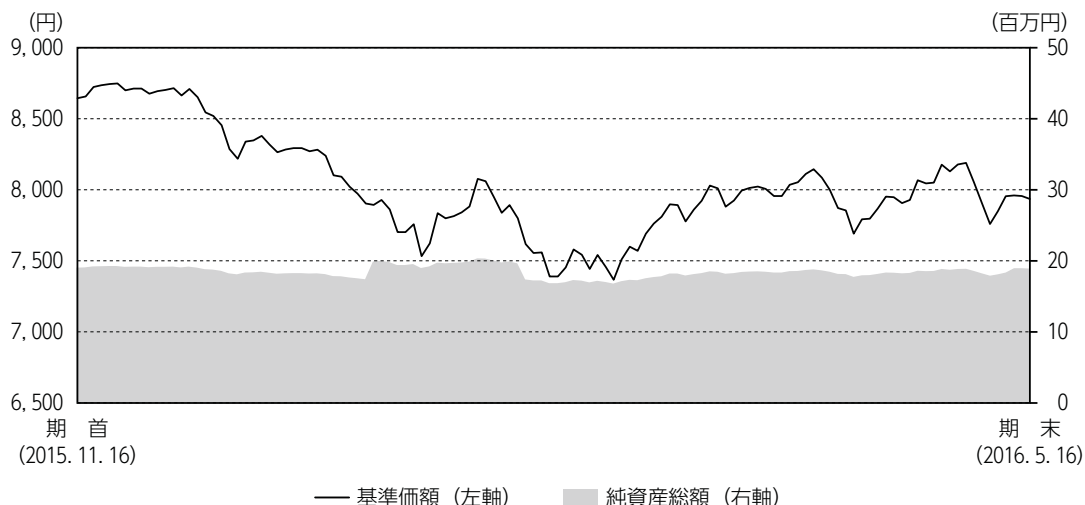
(注1) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

## 《運用経過》

## 基準価額等の推移について



## ■基準価額・騰落率

期首：8,643円

期末：7,934円

騰落率：△8.2%

## ■基準価額の主な変動要因

「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ/NB・ストラテジック・インカム・ファンド (通貨分散/N1クラス)」 (以下「ストラテジック・インカム・ファンド (通貨分散/N1クラス)」といいます。) の受益証券を通じて、米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資し、為替取引等を活用して、分散通貨 (※) への投資成果の獲得をめざし運用を行なった結果、投資した債券等はおおむね堅調な推移となったものの、分散通貨が対円で下落したことなどを背景に、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※分散通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引等の対象通貨として選定された通貨をいいます。当期においては、米ドル、カナダ・ドル、ユーロ、英ポンド、豪ドル、韓国ウォン、インドネシア・ルピア、中国・人民元、インド・ルピー、ロシア・ルーブル、ブラジル・リアル、メキシコ・ペソを分散通貨としました。

## NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉 世界通貨分散コース

年 月 日	基 準 価 額		公 社 組 比	債 入 率	投 資 受 組	資 益 入	信 証 比	託 券 率
	騰	落 率						
(期 首) 2015年11月16日	円 8,643	% —		% 0.0				% 99.5
11月末	8,676	0.4		0.0				99.5
12月末	8,281	△ 4.2		0.0				99.5
2016年 1 月末	7,882	△ 8.8		0.0				99.6
2 月末	7,599	△ 12.1		0.0				99.4
3 月末	8,111	△ 6.2		—				98.4
4 月末	8,189	△ 5.3		0.0				98.5
(期 末) 2016年 5 月16日	7,934	△ 8.2		0.0				99.3

(注) 騰落率は期首比。



**投資環境について****○米国債券市況**

米国債券市況は、10年債利回りで見ると金利低下となりました。期首から2015年12月にかけては、おおむね横ばいでの推移となりました。2016年2月半ばにかけては、世界的な株価下落や原油安などから市場のリスク回避姿勢が高まり、金利は低下しました。その後は、株価や原油価格が回復し、市場のリスク回避姿勢が後退する場面での金利上昇圧力と、米国での利上げ観測の後退を受けた金利低下圧力に振らされながら、おおむねレンジ内で推移して期末を迎えました。

クレジットセクターにおいては、期首から2016年2月にかけては多くのセクターが軟調に推移しましたが、その後はパフォーマンスが回復する展開となりました。

**○為替相場**

選定した通貨はすべて対円で下落しました。対米ドルでは、ブラジル・リアル、ユーロ、カナダ・ドル、インドネシア・ルピア、ロシア・ルーブル、豪ドルが上昇した一方、韓国ウォン、インド・ルピー、中国・人民元、英ポンド、メキシコ・ペソは下落しました。

**○短期金利市況**

米ドル以外の選定した通貨の短期金利は、ユーロについては米ドルの短期金利を下回る水準で推移しました。英ポンドおよびカナダ・ドルについては、米ドルの短期金利とおおむね同程度の水準で推移しました。その他の通貨については、米ドルの短期金利を上回って推移しました。

米国では2015年12月のFOMC（米国連邦公開市場委員会）において、政策金利の誘導目標レンジの0.25～0.50%への引き上げが決定されました。

**前期における「今後の運用方針」****○当ファンド**

ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）への投資割合を高位に保つことによって、米ドル建ての複数種別の債券等（※）に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

※国債・政府機関債、投資適格社債、ハイ・イールド社債、資産担保証券、バンクローン等です。

**○ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）**

米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータ

リターンの最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

また、原則として米ドル売り／分散通貨買いの為替取引等を活用して、以下の方針に沿って選定した分散通貨への投資成果の獲得をめざします。

- ・原則として、先進国と新興国あわせて12通貨に均等投資することを基本とします。
- ・分散通貨は、各国経済規模や通貨の流動性等を考慮し、原則、年1回見直します。

※流動性が著しく悪化した通貨が存在する場合などには、投資する通貨が12通貨を下回ることがあります。

#### ○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

### ポートフォリオについて

#### ○当ファンド

当ファンドは、ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）の受益証券とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、期を通じてストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）の受益証券への投資割合を高位に維持しました。

#### ○ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）

米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンの最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。債券種別では、クレジットセクターに対して積極的な組み入れを行ないました。

また、為替取引等を活用して、分散通貨への投資成果の獲得をめざしました。取引対象通貨においては、先進国と新興国の中から各国の経済規模や通貨の流動性等を考慮し、12通貨を選定し、運用を行ないました。また、取引対象通貨合計の比率は、原資産に対しておおむね100%を維持しました。

#### ○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当期は、分配対象額が計上できなかったため、収益分配を行ないませんでした。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2015年11月17日 ～2016年5月16日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	—

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 《今後の運用方針》

### ○当ファンド

ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）への投資割合を高位に保つことによって、米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンの最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

### ○ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）

米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンの最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

また、原則として米ドル売り／分散通貨買いの為替取引等を活用して、以下の方針に沿って選定した分散通貨への投資成果の獲得をめざします。

- ・原則として、先進国と新興国合わせて12通貨に均等投資することを基本とします。
- ・分散通貨は、各国経済規模や通貨の流動性等を考慮し、原則、年1回見直します。

※流動性が著しく悪化した通貨が存在する場合などには、投資する通貨が12通貨を下回る場合があります。

### ○ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2015. 11. 17~2016. 5. 16)		
	金 額	比 率	
信託報酬	19円	0. 231%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>期中の平均基準価額は8, 024円です。</b>
(投信会社)	(15)	(0. 188)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(2)	(0. 027)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(1)	(0. 016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	19	0. 234	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2015年11月17日から2016年5月16日まで)

	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 40.897	千円 3,269	千口 24.719	千円 1,900

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2015年11月17日から2016年5月16日まで)

当				期			
買 付		平均単価		売 付		平均単価	
銘 柄	口 数	金 額	円	銘 柄	口 数	金 額	円
NB STRATEGIC INCOME FUND GLOBALCURRENCY N 1 CLASS (ケイマン諸島)	千口 40.897	千円 3,269	79	NB STRATEGIC INCOME FUND GLOBALCURRENCY N 1 CLASS (ケイマン諸島)	千口 24.719	千円 1,900	76

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

(2015年11月17日から2016年5月16日まで)

決 算 期	当 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 68,462	百万円 4,000	% 5.8	百万円 11,349	百万円 —	% —
コール・ローン	2,548,927	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

期首保有額	期中設定額	期中解約額	期末保有額	取 引 の 理 由
百万円 12	百万円 —	百万円 —	百万円 12	当初設定時における取得

(注1) 金額は元本ベース。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) NB STRATEGIC INCOME FUND GLOBALCURRENCY N1 CLASS	233.857	18,755	99.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。  
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首			当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	0	0	1	0	0	1

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年5月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	18,755	99.1
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	176	0.9
投資信託財産総額	18,932	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年5月16日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	18,932,781円
コール・ローン等	176,400
投資信託受益証券 (評価額)	18,755,381
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	1,000
(B) 負債	43,275
未払信託報酬	42,589
その他未払費用	686
(C) 純資産総額 (A - B)	18,889,506
元本	23,807,564
次期繰越損益金	△ 4,918,058
(D) 受益権総口数	23,807,564口
1万口当り基準価額 (C/D)	7,934円

\* 期首における元本額は22,008,171円、当期中における追加設定元本額は4,200,290円、同解約元本額は2,400,897円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は7,934円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は4,918,058円です。

■損益の状況

当期 自2015年11月17日 至2016年5月16日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	3円
受取利息	4
支払利息	△ 1
(B) 有価証券売買損益	△ 1,358,025
売買益	178,291
売買損	△ 1,536,316
(C) 信託報酬等	△ 43,275
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 1,401,297
(E) 前期繰越損益金	△ 1,489,472
(F) 追加信託差損益金	△ 2,027,289
(売買損益相当額)	(△) 2,027,289
(G) 合計 (D + E + F)	△ 4,918,058
次期繰越損益金 (G)	△ 4,918,058
追加信託差損益金	△ 2,027,289
(売買損益相当額)	(△) 2,027,289
繰越損益金	△ 2,890,769

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は31ページの「収益分配金の計算過程 (総額)」の表を参照。

## ■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	0
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	0
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	0
(h) 受益権総口数	23,807,564口



ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／NB・ストラテジック・インカム・ファンド  
 (ノンヘッジ／N1クラス) / (円ヘッジ／N1クラス) / (通貨分散／N1クラス)

当ファンド（NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉）はケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／NB・ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）／（円ヘッジ／N1クラス）／（通貨分散／N1クラス）」に投資しておりますが、以下の内容はすべてのクラスを合算しております。

(注) 2016年5月16日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

(米ドル建て)

貸借対照表  
 2015年2月28日

資産

投資、時価（費用 50, 115, 237ドル）	ドル	49, 898, 565
現金		27
為替先渡契約による評価益		15, 202
未収：		
売却済みの投資		1, 574, 755
利子		219, 060
カウンターパーティへの預金		373, 000
金融デリバティブ商品にかかる未収追加証拠金		458, 536
その他資産		11, 601
<b>資産合計</b>		<b>52, 550, 746</b>

負債

為替先渡契約による評価損		545, 152
未払：		
購入済み繰延受渡証券		11, 435, 956
購入済みの投資		1, 249, 430
買戻し済みの受益証券		323, 863
専門家報酬		54, 250
保管報酬		47, 008
投資運用会社報酬		36, 891
会計および管理報酬		15, 624
名義書換代理会社報酬		5, 948
為替仲介会社報酬		1, 160
為替投資アドバイザー報酬		364
<b>負債合計</b>		<b>13, 715, 646</b>

純資産

ドル **38, 835, 100**

## NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉

### 純資産

通貨セレクトクラス	ドル	3,092,151
通貨分散／N1クラス		92,016
円ヘッジクラス		25,037,365
円ヘッジ／N1クラス		1,692,633
ノンヘッジクラス		5,425,091
ノンヘッジ／N1クラス		3,495,844
	ドル	<b>38,835,100</b>

### 発行済み受益証券数

通貨セレクトクラス	3,589,344
通貨分散／N1クラス	119,400
円ヘッジクラス	31,353,417
円ヘッジ／N1クラス	1,878,858
ノンヘッジクラス	4,385,937
ノンヘッジ／N1クラス	3,202,699

### 1口当りの純資産

通貨セレクトクラス	ドル	0.861
通貨分散／N1クラス	ドル	0.771
円ヘッジクラス	ドル	0.799
円ヘッジ／N1クラス	ドル	0.901
ノンヘッジクラス	ドル	1.237
ノンヘッジ／N1クラス	ドル	1.092

## 損益計算書

2015年2月28日に終了した年度

## 投資収益

利子収入（源泉税26,065ドル控除後）	ドル	1,540,539
配当収益（源泉税253,842ドル控除後）		592,298
<b>投資収益合計</b>		<b>2,132,837</b>

## 費用

投資運用会社報酬		300,139
保管報酬		146,705
専門家報酬		59,345
会計および管理報酬		33,255
名義書換代理会社報酬		24,144
受託会社報酬		15,604
金利費用		7,615
為替投資アドバイザー報酬		5,950
設立費		4,679
為替仲介会社報酬		4,432
登録料		1,508
<b>費用合計</b>		<b>603,376</b>

## 純投資収益

1,529,461

## 実現益および評価益（実現損および評価損）：

## 実現益（損）：

有価証券への投資	1,500,221
先物取引	(841,114)
為替取引および為替先渡契約	(5,788,168)
<b>純実現損</b>	<b>(5,129,061)</b>

## 評価益（損）の純変動：

有価証券への投資	(263,764)
先物取引	218,074
為替換算および為替先渡契約	(563,775)
<b>評価損の純変動</b>	<b>(609,465)</b>

## 純実現損および純評価損

(5,738,526)

## 業務活動から生じた純資産の純減

ドル (4,209,065)

## NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉

当ファンド（NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉）はケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ/NB・ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ/N1クラス）／（円ヘッジ/N1クラス）／（通貨分散/N1クラス）」に投資しておりますが、以下の内容はすべてのクラスに共通です。

（注）2016年5月16日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

投資明細表  
2015年2月28日

元本金額	有価証券の明細	対純資産比率	公正価値	元本金額	有価証券の明細	対純資産比率	公正価値
	債券 (91.1%)				イタリア計		556, 973
	オーストラリア (1.2%)				(費用519, 392ドル)		
	国債 (1.2%)				ルクセンブルグ (0.8%)		
	Australia Government Bond				社債 (0.8%)		
AUD 560, 000	3.25% due 04/21/25	ドル	468, 958	USD 270, 000	ArcelorMittal		292, 275
	国債計		468, 958		6.00% due 08/05/20		292, 275
	オーストラリア計		468, 958		社債計		292, 275
	(費用468, 386ドル)				ルクセンブルグ計		292, 275
	ブラジル (0.3%)				(費用286, 205ドル)		
	社債 (0.3%)				メキシコ (1.5%)		
	BRF S. A.				社債 (0.5%)		
USD 120, 000	4.75% due 05/22/24		118, 350	USD 200, 000	Mexichem SAB de CV		202, 000
	社債計		118, 350		5.88% due 09/17/44		202, 000
	ブラジル計		118, 350		社債計		202, 000
	(費用118, 222ドル)				国債 (1.0%)		
	コロンビア (0.3%)				Mexican Bonos		
	社債 (0.3%)			MXN 4, 725, 000	7.75% due 11/13/42		376, 591
	Ecopetrol S. A.				国債計		376, 591
USD 130, 000	5.88% due 05/28/45		124, 787		メキシコ計		578, 591
	社債計		124, 787		(費用584, 677ドル)		
	コロンビア計		124, 787		オランダ (0.5%)		
	(費用129, 145ドル)				社債 (0.5%)		
	フランス (0.4%)				LyondellBasell Industries NV		
	社債 (0.4%)			USD 175, 000	4.63% due 02/26/55 (b)		172, 681
	Societe Generale S. A.				社債計		172, 681
USD 180, 000	6.00% due 10/27/49 (b), (c), (d)		171, 022		オランダ計		172, 681
	社債計		171, 022		(費用172, 118ドル)		
	フランス計		171, 022		ニュージーランド (2.2%)		
	(費用180, 795ドル)				国債 (2.2%)		
	イタリア (1.4%)				New Zealand Government Bond		
	国債 (1.4%)			NZD 190, 000	2.50% due 09/20/35		157, 960
	Italy Buoni Poliennali Del Tesoro			NZD 775, 000	5.50% due 04/15/23		677, 315
EUR 190, 000	2.50% due 12/01/24		235, 622		国債計		835, 275
EUR 206, 013	2.55% due 09/15/41		321, 351		ニュージーランド計		835, 275
	国債計		556, 973		(費用828, 777ドル)		

NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉

元本金額	有価証券の明細	対純資産比率	公正価値	元本金額	有価証券の明細	対純資産比率	公正価値
ZAR 6,300,000	南アフリカ (1.1%) 国債 (1.1%) South Africa Government Bond 6.50% due 02/28/41		440,562	USD 550,000	Banc of America Commercial Mortgage Trust Series 2006-5 Class A 4 5.41% due 09/10/47		572,787
	<b>国債計</b>		<b>440,562</b>		Carrington Mortgage Loan Trust Series 2005-NC 5 Class M 1		
	<b>南アフリカ計 (費用462,665ドル)</b>		<b>440,562</b>	USD 280,000	0.65% due 10/25/35 (b), (e)		243,090
	スペイン (1.7%) 国債 (1.7%) Spain Government Bond		176,849	USD 415,000	Carrington Mortgage Loan Trust Series 2006-NC 1 Class A 4 0.48% due 01/25/36 (b), (e)		339,637
EUR 155,000	1.95% due 07/30/30 (a)		184,834		Carrington Mortgage Loan Trust Series 2006-RFC 1 Class A 4		
EUR 125,000	4.65% due 07/30/25 (a)		289,906	USD 415,000	0.41% due 05/25/36 (b), (e)		337,071
EUR 160,000	5.15% due 10/31/44 (a)		<b>651,589</b>		Citigroup Mortgage Loan Trust Asset- Backed Pass-Through Certificates Series 2005-OPT 3 Class M 3		
	<b>国債計</b>		<b>651,589</b>	USD 700,000	0.65% due 05/25/35 (b), (e)		600,699
	<b>スペイン計 (費用629,234ドル)</b>				COMM Mortgage Trust Series 2013-CR12 Class XA		
	スイス (0.6%) 社債 (0.6%) Credit Suisse Group AG		242,770	USD 1,482,640	1.42% due 10/10/46 (c)		122,687
USD 245,000	6.25% due 12/29/49 (b), (c), (d)		<b>242,770</b>		COMM Mortgage Trust Series 2013-LC 6 Class XB		
	<b>社債計</b>		<b>242,770</b>	USD 4,000,000	0.36% due 01/10/46 (a), (c)		113,200
	<b>スイス計 (費用245,000ドル)</b>		<b>242,770</b>		COMM Mortgage Trust Series 2014-CR17 Class XA		
	英国 (0.4%) 国債 (0.4%) United Kingdom Gilt		140,442	USD 1,541,361	1.21% due 05/10/47 (c)		113,190
GBP 90,000	1.75% due 09/07/22		<b>140,442</b>		COMM Mortgage Trust Series 2014-UBS 3 Class XA		
	<b>国債計</b>		<b>140,442</b>	USD 1,280,121	1.36% due 06/10/47 (c)		109,073
	<b>英国計 (費用145,819ドル)</b>				Credit Suisse Commercial Mortgage Trust Series 2006-C 3 Class A 3		
	米国 (78.7%) 資産担保証券 (22.9%) Accredited Mortgage Loan Trust Series 2006-1 Class A 4		232,347	USD 317,209	5.81% due 06/15/38 (c)		328,741
USD 270,000	0.45% due 04/25/36 (b), (e)		1,082,202				
	Aegis Asset Backed Securities Trust Series 2005-1 Class M 3		264,244				
USD 1,200,000	0.72% due 03/25/35 (e)						
	American Airlines Pass- Through Trust Series 2014-1 Class B						
USD 255,000	4.38% due 10/01/22						

NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉

元本金額	有価証券の明細	対純資産比率	公正価値	元本金額	有価証券の明細	対純資産比率	公正価値
USD 1,427,637	GS Mortgage Securities Trust Series 2012-GC 6 Class XA 2.12% due 01/10/45 (a), (c)		148,950		Structured Asset Securities Corp. Mortgage Loan Trust Series 2005-WF 4 Class M 4		
USD 1,579,120	GS Mortgage Securities Trust Series 2014-GC18 Class XA 1.29% due 01/10/47 (c)		120,007	USD 350,000	0.75% due 11/25/35 (b), (e)		294,631
USD 366,610	ML-CFC Commercial Mortgage Trust Series 2006-4 Class A 3 5.17% due 12/12/49 (d)		385,695	USD 289,983	0.33% due 04/25/36 (b), (e)		273,598
USD 180,000	ML-CFC Commercial Mortgage Trust Series 2007-7 Class A 4 5.75% due 06/12/50 (c)		193,756		Structured Asset Securities Corp. Mortgage Loan Trust Series 2006-BC 5 Class A 4		
USD 1,592,229	Morgan Stanley Bank of America Merrill Lynch Trust Series 2014-C16 Class XA 1.25% due 06/15/47 (c)		120,185	USD 710,000	0.34% due 12/25/36 (b), (e)		606,260
USD 190,000	New Century Home Equity Loan Trust Series 2005-B Class A 2 D 0.57% due 10/25/35 (b), (e)		175,363	USD 1,264,457	1.85% due 12/10/45 (a), (c)		126,512
USD 303,000	Park Place Securities, Inc. Asset-Backed Pass-Through Certificates Series 2005-WCH 1 Class M 4 1.00% due 01/25/36 (b), (e)		269,317	USD 400,000	5.72% due 06/15/49 (c), (d)		428,193
USD 200,000	RAAC Trust Series 2006-SP 2 Class M 1 0.51% due 02/25/36 (b), (e)		177,709	USD 1,032,485	2.21% due 11/15/45 (a), (c)		112,991
USD 238,889	RAMP Trust Series 2005-RZ 1 Class M 5 0.80% due 04/25/35 (b), (e)		212,862	USD 3,340,734	1.49% due 03/15/45 (a), (c)		237,837
USD 230,000	RAMP Trust Series 2005-RZ 2 Class M 4 0.73% due 05/25/35 (b), (e)		201,398		<b>資産担保証券計</b>		<b>8,877,165</b>
USD 385,000	RASC Trust Series 2005-KS10 Class M 2 0.61% due 11/25/35 (b), (e)		332,933	USD 190,000	Air Lease Corp. 3.88% due 04/01/21 (b)		195,700
				USD 310,000	4.25% due 09/15/24 (b)		319,300
				USD 220,000	Ally Financial, Inc. 3.25% due 02/13/18		220,000
				USD 225,000	Apache Corp. 4.75% due 04/15/43 (b)		235,729

NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉

	元本金額	有価証券の明細	対純資産比率	公正価値		元本金額	有価証券の明細	対純資産比率	公正価値
USD	170,000	AT&T, Inc. 5.35% due 09/01/40		181,115	USD	190,000	Omega Healthcare Investors, Inc. 4.50% due 01/15/25 (b)		193,796
USD	95,000	Citigroup, Inc. 6.30% due 12/29/49 (b), (c), (d)		96,900	USD	65,000	Phillips 66 Partners LP 3.61% due 02/15/25 (b)		65,496
USD	150,000	Corporate Office Properties LP 3.70% due 06/15/21 (b)		150,756	USD	165,000	Prudential Financial, Inc. 5.20% due 03/15/44 (b), (c)		167,442
USD	140,000	DR Horton, Inc. 4.00% due 02/15/20		141,400	USD	250,000	Qwest Corp. 6.75% due 12/01/21		288,500
USD	230,000	Education Realty Operating Partnership LP 4.60% due 12/01/24 (b)		239,849	USD	65,000	Reynolds American, Inc. 4.75% due 11/01/42		65,920
USD	150,000	Energy Transfer Partners LP 6.50% due 02/01/42 (b)		179,336	USD	450,000	Transocean, Inc. 3.80% due 10/15/22 (b)		349,313
USD	150,000	EPR Properties 5.75% due 08/15/22 (b)		164,691	USD	235,000	Trinity Industries, Inc. 4.55% due 10/01/24 (b)		233,341
USD	170,000	ERAC USA Finance LLC 4.50% due 02/15/45 (b)		172,138	USD	313,000	Verizon Communications, Inc. 6.55% due 09/15/43		411,359
USD	540,000	Freeport-McMoRan, Inc. 4.55% due 11/14/24 (b)		509,891	USD	175,000	Voya Financial, Inc. 5.65% due 05/15/53 (b), (c)		181,563
USD	300,000	General Electric Capital Corp. 5.25% due 06/29/49 (b), (c), (d)		307,530	USD	225,000	Williams Partners LP 3.60% due 03/15/22 (b)		225,251
USD	360,000	General Motors Financial Co., Inc. 3.15% due 01/15/20 (b)		363,831			<b>社債計</b>		<b>7,272,295</b>
USD	335,000	Goldman Sachs Group, Inc. 5.70% due 12/29/49 (b), (c), (d)		345,887	USD	260,000	Federal Home Loan Banks 5.50% due 07/15/36		362,502
USD	185,000	Jefferies Group LLC 6.50% due 01/20/43		189,614	USD	1,855,000	Federal Home Loan Mortgage Corp., TBA 4.00% due 03/15/45 (f)		1,983,476
USD	280,000	JPMorgan Chase & Co. 6.00% due 12/29/49 (b), (c), (d)		285,425	USD	1,150,000	4.50% due 03/15/45 (f)		1,247,103
USD	70,000	Kinder Morgan Energy Partners LP 5.40% due 09/01/44 (b)		74,227	USD	345,000	Federal National Mortgage Association, TBA 3.00% due 03/01/30 (f)		361,220
USD	140,000	Morgan Stanley 5.50% due 03/01/44 (b)		149,394	USD	185,000	3.50% due 03/01/45 (f)		193,885
USD	145,000	5.50% due 09/01/39		168,533	USD	3,625,000	4.00% due 03/01/45 (f)		3,875,677
USD	390,000	Morgan Stanley 5.45% due 07/29/49 (b), (c), (d)		399,068	USD	2,820,000	4.50% due 03/01/45 (f)		3,064,944
					USD	360,000	5.00% due 03/01/45 (f)		399,291
					USD	300,000	Government National Mortgage Association, TBA 4.00% due 03/20/45 (f)		318,984

## NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉

元本金額	有価証券の明細	対純資産比率	公正価値	株数	有価証券の明細	対純資産比率	公正価値
USD 40,000	Tennessee Valley Authority 5.25% due 09/15/39		51,760	USD 471,582	ANZ National Bank 0.03% due 03/02/15		471,582
USD 928,428	U.S. Treasury Inflation Indexed Bonds 3.88% due 04/15/29		1,366,674		定期預金計 英国計 (費用471,582ドル)		471,582
USD 30,000	U.S. Treasury Bond 3.88% due 08/15/40		37,470		短期投資計 (費用473,256ドル)		473,260
USD 265,000	U.S. Treasury Notes 5.38% due 02/15/31		373,567		投資計 (費用50,115,237ドル)	128.5%	ドル 49,898,565
USD 730,000	2.75% due 02/15/24		777,621		現金およびその他資産を上回る負債	(28.5)	(11,063,465)
	<b>国債計</b>		<b>14,414,174</b>		<b>純資産</b>	<b>100.0%</b>	<b>ドル 38,835,100</b>
	<b>米国計</b> (費用30,529,471ドル)		<b>30,563,634</b>				
	<b>債券計</b> (費用35,299,906ドル)		<b>35,357,909</b>				
	<b>株数</b>						
	上場投資信託 (36.2%)						
	米国 (36.2%)						
32,820	iShares iBoxx \$ High Yield Corporate Bond ETF		3,016,158				
40,000	iShares JP Morgan USD Emerging Markets Bond ETF		4,498,000				
151,830	PowerShares Senior Loan Portfolio		3,672,768				
72,410	SPDR Barclays High Yield Bond ETF		2,880,470				
			14,067,396				
	<b>米国計</b>		<b>14,067,396</b>				
	上場投資信託計 (費用14,342,075ドル)		<b>14,067,396</b>				
	短期投資 (1.2%)						
	グランド・ケイマン (0.0%)						
	定期預金 (0.0%)						
JPY 46,767	Brown Brothers Harriman & Co. 0.01% due 03/02/15		ドル 391				
GBP 1	0.09% due 03/02/15		1				
CAD 54	0.10% due 03/02/15		43				
NZD 1,437	2.30% due 03/02/15		1,088				
ZAR 1,801	4.70% due 03/02/15		155				
	<b>定期預金計</b>		<b>1,678</b>				
	グランド・ケイマン計 (費用1,674ドル)		<b>1,678</b>				
	英国 (1.2%)						
	定期預金 (1.2%)						

投資明細表のすべての有価証券は運用会社の最良の判断に基づいて有価証券の所在地ではなく、リスクの所在国によって分類されています。

用語集：

TBA To be announced (事後告知) の略。米国政府機関によって発行される不動産ローン担保証券の先渡取引で、合意された将来の決済日に受渡しがされます。

- (a) 144A証券-1933年証券取引法の規則144Aの下でSECへの登録の適用除外になっている証券。これらの証券は、登録せずに主として適格機関購入者に転売が可能です。他に指定がない限り、これらの証券は非流動的だとはみなされません。
- (b) 償還条項付き証券。
- (c) 2015年2月28日時点の変動金利証券。
- (d) 永久債。
- (e) 2015年2月28日時点の変動利付き証券。
- (f) 発行日取引または繰延受渡しベースで購入された証券。



## 2015年2月28日時点の先物取引（純資産の0.15%）

ポジション	銘柄	限月	枚数	評価益 / (損)	
売り	10 Year Mini SGX Japanese Government Bond March Futures	2015年3月	(17)	ドル	(13,083)
買い	3 Month Euribor December Futures	2015年12月	4		1,066
買い	3 Month Euroyen June Futures	2015年6月	13		(73)
買い	90 Day Eurodollar December Futures	2016年12月	2		(825)
売り	Australian Dollar March Futures	2015年3月	(6)		(3,840)
売り	Euro Buxl 30 Year Bond June Futures	2015年6月	(4)		(7,896)
売り	Euro FX March Futures	2015年3月	(12)		131,914
売り	Euro-Bund June Futures	2015年6月	(1)		(628)
売り	Euro-Oat June Futures	2015年6月	(3)		(2,266)
売り	Great British Pound March Futures	2015年3月	(1)		1,487
買い	Long Gilt June Future	2015年6月	4		(556)
売り	Mexican Peso March Futures	2015年3月	(5)		8,750
買い	New Zealand 90 Day Bank Bill December Futures	2015年12月	9		3,115
売り	New Zealand Dollar March Futures	2015年3月	(7)		(3,690)
売り	South African Rand (CME) March Futures	2015年3月	(6)		6,312
売り	U. S. Treasury 10 Year Note (CBT) June Futures	2015年6月	(46)		(39,684)
売り	U. S. Treasury 2 Year Note (CBT) June Futures	2015年6月	(4)		(563)
売り	U. S. Treasury 5 Year Note (CBT) June Futures	2015年6月	(24)		(5,343)
売り	U. S. Treasury Long Bond (CBT) June Futures	2015年6月	(8)		(12,821)
売り	U. S. Treasury Ultra Bond (CBT) June Futures	2015年6月	(1)		(3,267)
				ドル	<b>58,109</b>

## 2015年2月28日時点の通貨セレクトクラス為替先渡契約（純資産の(0.09)%）

買い	カウンターパーティ	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価(損)	純評価益 / (損)
AUD	Citibank N. A.	543,549	2015年3月18日	USD	423,880	ドル 1,180	ドル —	ドル 1,180
BRL	Citibank N. A.	1,596,689	2015年3月18日	USD	576,877	—	(21,465)	(21,465)
INR	Citibank N. A.	36,081,462	2015年3月18日	USD	581,334	340	—	340
NZD	Citibank N. A.	627,191	2015年3月18日	USD	461,014	12,870	—	12,870
TRY	Citibank N. A.	1,411,306	2015年3月18日	USD	574,359	—	(15,571)	(15,571)
ZAR	Citibank N. A.	5,817,556	2015年3月18日	USD	510,343	—	(12,482)	(12,482)
						ドル <b>14,390</b>	ドル <b>(49,518)</b>	ドル <b>(35,128)</b>

## NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉

2015年2月28日時点の通貨分散／N1クラス為替先渡契約（純資産の（0.00）％）

買い	カウンターパーティ	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価（損）	純評価益 /（損）
AUD	Citibank N. A.	10,124	2015年3月18日	USD	7,894	ドル 24	ドル —	ドル 24
BRL	Citibank N. A.	20,768	2015年3月18日	USD	7,503	—	(279)	(279)
CAD	Citibank N. A.	9,884	2015年3月18日	USD	7,905	8	—	8
CNY	Citibank N. A.	48,347	2015年3月18日	USD	7,840	—	(144)	(144)
EUR	Citibank N. A.	6,927	2015年3月18日	USD	7,924	—	(154)	(154)
GBP	Citibank N. A.	5,176	2015年3月18日	USD	7,920	78	—	78
IDR	Citibank N. A.	99,693,272	2015年3月18日	USD	7,848	—	(155)	(155)
INR	Citibank N. A.	490,569	2015年3月18日	USD	7,900	9	—	9
KRW	Citibank N. A.	8,594,013	2015年3月18日	USD	7,875	—	(50)	(50)
MXN	Citibank N. A.	117,334	2015年3月18日	USD	7,895	—	(57)	(57)
RUB	Citibank N. A.	523,282	2015年3月18日	USD	7,715	693	—	693
						ドル <b>812</b>	ドル <b>(839)</b>	ドル <b>(27)</b>

2015年2月28日時点の円ヘッジクラス為替先渡契約（純資産の（1.19）％）

買い	カウンターパーティ	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価（損）	純評価益 /（損）
JPY	Citibank N. A.	3,018,830,006	2015年3月18日	USD	25,721,810	ドル —	ドル <b>(463,966)</b>	ドル <b>(463,966)</b>

2015年2月28日時点の円ヘッジ／N1クラス為替先渡契約（純資産の（0.08）％）

買い	カウンターパーティ	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価（損）	純評価益 /（損）
JPY	Citibank N. A.	202,789,656	2015年3月18日	USD	1,727,523	ドル —	ドル <b>(30,829)</b>	ドル <b>(30,829)</b>

通貨の略称：

AUD	—	オーストラリア・ドル	JPY	—	日本円
BRL	—	ブラジル・リアル	KRW	—	韓国ウォン
CAD	—	カナダ・ドル	MXN	—	メキシコ・ペソ
CNY	—	中国元	NZD	—	ニュージーランド・ドル
EUR	—	ユーロ	RUB	—	ロシア・ルーブル
GBP	—	英ポンド	TRY	—	トルコ・リラ
IDR	—	インドネシア・ルピア	USD	—	米ドル
INR	—	インド・ルピー	ZAR	—	南アフリカ・ランド

<補足情報>

当ファンド（NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2015年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2016年5月16日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を42ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄  
公 社 債

(2015年11月17日から2016年5月16日まで)

買 付		売 付	
買 柄	金 額	売 柄	金 額
	千円		千円
591 国庫短期証券 2016/5/30	24,330,973	567 国庫短期証券 2016/2/8	4,999,980
588 国庫短期証券 2016/5/16	12,500,147	566 国庫短期証券 2016/2/1	2,999,991
573 国庫短期証券 2016/3/7	5,800,988	342 2年国債 0.1% 2016/7/15	2,095,779
586 国庫短期証券 2016/5/12	4,000,096	100 5年国債 0.3% 2016/9/20	1,253,387
576 国庫短期証券 2016/3/22	3,000,288		
574 国庫短期証券 2016/3/14	3,000,171		
557 国庫短期証券 2015/12/14	3,000,000		
572 国庫短期証券 2016/2/29	3,000,000		
560 国庫短期証券 2015/12/28	2,700,000		
559 国庫短期証券 2015/12/21	2,049,999		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2016年5月16日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（51,965,391千円）の内容です。

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	2016年5月16日現在						
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格 以下組入 比	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
千円	千円	%	%	%	%	%	
国債証券	24,330,000	24,330,973	45.9	—	—	—	45.9

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。  
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2016年5月16日現在						
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
		%	千円	千円		
国債証券	591 国庫短期証券	—	24,330,000	24,330,973	2016/05/30	

(注) 単位未満は切捨て。

# ダイワ・マネー・マザーファンド

## 運用報告書 第11期 (決算日 2015年12月9日)

(計算期間 2014年12月10日～2015年12月9日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの第11期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行いません。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
運用方法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行いません。 ②邦貨建資産の組入れにあたっては、取得時に第二位（A-2格相当）以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の30%以下

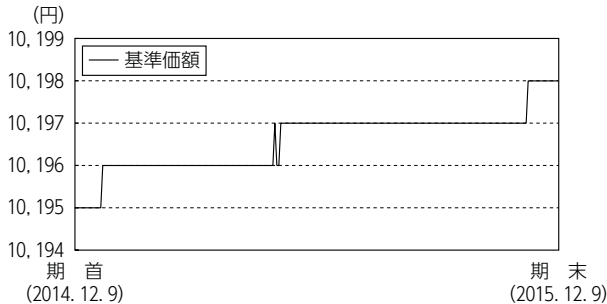
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年月日	基準価額		公社債組入比率
	円	騰落率 %	
(期首) 2014年12月9日	10,195	—	60.0
12月末	10,196	0.0	88.5
2015年1月末	10,196	0.0	87.3
2月末	10,196	0.0	58.5
3月末	10,196	0.0	53.0
4月末	10,196	0.0	61.8
5月末	10,197	0.0	59.0
6月末	10,197	0.0	53.3
7月末	10,197	0.0	62.8
8月末	10,197	0.0	70.5
9月末	10,197	0.0	61.6
10月末	10,197	0.0	66.8
11月末	10,198	0.0	52.5
(期末) 2015年12月9日	10,198	0.0	55.2

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,195円 期末：10,198円 騰落率：0.0%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境で利息収入が僅少であったことなどから、基準価額はほぼ横ばいとなりました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

期を通じて、日銀は金融市場調節の操作目標をマネタリーベースとする量的・質的金融緩和政策を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、短期金融市場では低金利が続き、無担保コール翌日物金利は0.07%台を中心に推移しました。国庫短期証券（3カ月物）の利回りは日銀の買い入れによる需給ひっ迫等を背景に、△0.11～0.02%程度で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

◆ポートフォリオについて

短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

■1万口当りの費用の明細

項目	当	期
売買委託手数料		—円
有価証券取引税		—
その他費用		—
合計		—

(注) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

■売買および取引の状況

公社債

(2014年12月10日から2015年12月9日まで)

		買付額	売付額
国		千円	千円
内	国債証券	120,653,910	( 92,494,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

# ダイワ・マネー・マザーファンド

## ■主要な売買銘柄

### 公 社 債

(2014年12月10日から2015年12月9日まで)

当 期		期 末	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
550 国庫短期証券 2015/11/9	8,509,995		
548 国庫短期証券 2015/11/2	7,399,995		
559 国庫短期証券 2015/12/21	7,049,991		
563 国庫短期証券 2016/1/18	6,099,995		
555 国庫短期証券 2015/12/7	5,499,999		
557 国庫短期証券 2015/12/14	5,469,997		
568 国庫短期証券 2016/2/15	5,000,000		
567 国庫短期証券 2016/2/8	4,999,995		
573 国庫短期証券 2016/3/7	4,800,955		
520 国庫短期証券 2015/6/22	3,499,975		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2015年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	43,559,849	55.2
コール・ローン等、その他	35,332,328	44.8
投資信託財産総額	78,892,178	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■組入資産明細表

### (1)国内(邦貨建)公社債(種類別)

作 成 期	当 期			期 末			
	額面金額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
区 分	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	43,554,000	43,559,849	55.2	—	—	—	55.2

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

### (2)国内(邦貨建)公社債(銘柄別)

区 分	当 期		期 末		
	銘 柄	年 利 率	額面金額	評 価 額	償還年月日
国債証券	537 国庫短期証券	—	1,000,000	1,000,000	2015/12/10
	557 国庫短期証券	—	5,470,000	5,469,999	2015/12/14
	559 国庫短期証券	—	7,050,000	7,049,997	2015/12/21
	560 国庫短期証券	—	2,790,000	2,789,999	2015/12/28
	563 国庫短期証券	—	6,100,000	6,099,997	2016/01/18
	566 国庫短期証券	—	3,000,000	2,999,998	2016/02/01
	567 国庫短期証券	—	5,000,000	4,999,996	2016/02/08
	568 国庫短期証券	—	5,000,000	5,000,000	2016/02/15
	573 国庫短期証券	—	4,800,000	4,800,934	2016/03/07
	342 2年国債	0.1000	2,094,000	2,095,675	2016/07/15
	100 5年国債	0.3000	1,250,000	1,253,250	2016/09/20
	合計	銘柄数	11銘柄		
	金 額		43,554,000	43,559,849	

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年12月9日現在

項目	当期末
<b>(A)資産</b>	<b>78,892,178,168円</b>
コール・ローン等	35,330,663,234
公社債(評価額)	43,559,849,888
未収利息	1,114,825
前払費用	550,221
<b>(B)負債</b>	<b>—</b>
<b>(C)純資産総額(A-B)</b>	<b>78,892,178,168</b>
元本	77,361,886,547
次期繰越損益金	1,530,291,621
<b>(D)受益権総口数</b>	<b>77,361,886,547口</b>
1万口当り基準価額(C/D)	10,198円

\*期首における元本額は25,162,158,471円、当期中における追加設定元本額は125,627,714,743円、同解約元本額は73,427,986,667円です。

\*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、深センA株資金拠出用ファンド(適格機関投資家専用)1,000,294,205円、ダイワ/“R1C1®”コモディティ・ファンド8,952,508円、US債券NB戦略ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型)740,564円、US債券NB戦略ファンド(為替ヘッジなし/年1回決算型)1,623,350円、スマート・アロケーション・Dガード161,095,201円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>米ドルコース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>円コース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>世界通貨分散コース981円、ダイワファンドラップ コモディティセレクト317,088,630円、ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型)ートリプルリターンズー 日本円・コース(毎月分配型)132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型)ートリプルリターンズー 豪ドル・コース(毎月分配型)643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型)ートリプルリターンズー ブラジル・レアル・コース(毎月分配型)4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型)ートリプルリターンズー 米ドル・コース(毎月分配型)12,784円、ダイワ/フィデリティ北米株式ファンドーパラダイムシフトー49,096,623円、(適格機関投資家専用)スマート・シックス・Dガード1,919,351,400円、ブルベア・マネー・ポートフォリオIV23,032,151,009円、プル3倍日本株ポートフォリオIV47,552,576,868円、ベア2倍日本株ポートフォリオIV2,618,628,748円、ダイワF Eグローバル・バリュー株ファンド(ダイワSMA専用)13,896,435円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)ブラジル・レアル・コース(毎月分配型)98,290,744円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)日本円・コース(毎月分配型)23,590,527円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)米ドル・コース(毎月分配型)2,163,360円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)豪ドル・コース(毎月分配型)13,761,552円、ダイワ/UBSエマージングCBファンド2,498,575円、ダイワ/アムンディ食糧増産関連ファンド14,780,160円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ46,913,699円、ダイワ新興国ハイインカム・プラスIIー金積立型ー1,972,537円、ダイワ新興国ハイインカム債券ファンド(償還条項付付)為替ヘッジあり4,926,716円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド(資産成長コース)49,082,149円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド(通貨αコース)196,290,094円、ダイワ・ダブルバランス・ファンド(Dガード付/部分為替ヘッジあり)140,042,061円、ダイワ・インフラビジネス・ファンドーインフラ革命ー(為替ヘッジあり)9,813,543円、ダイワ・インフラビジネス・ファンドーインフラ革命ー(為替ヘッジなし)29,440,629円、ダイワ米国MLPファンド(毎月分配型)米ドルコース13,732,222円、ダイワ米国MLPファンド(毎月分配型)日本円コース3,874,449円、ダイワ米国MLPファンド(毎月分配型)通貨αコース13,437,960円、ダイワ英国高配当株ツインα(毎月分配型)98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ7,567,671円、DCスマート・アロケーション・Dガード3,224,448円、ダイワ・世界コモディティ・ファンド(ダイワSMA専用)490,418円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)南アフリカ・ランド・コース(毎月分配型)98,252円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)トルコ・リラ・コース(毎月分配型)2,554,212円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)通貨セレクト・コース(毎月分配型)1,178,976

円、ダイワ・オーストラリア高配当株α(毎月分配型) 株式αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α(毎月分配型) 通貨αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α(毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース982,029円、ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型)ートリプルリターンズー通貨セレクト・コース(毎月分配型)98,174円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は10,198円です。

■損益の状況

当期 自2014年12月10日 至2015年12月9日

項目	当	期
<b>(A)配当等収益</b>		<b>10,433,273円</b>
受取利息		10,433,273
<b>(B)有価証券売買損益</b>	△	<b>362,189</b>
売買益		43,331
売買損	△	405,520
<b>(C)当期損益金(A+B)</b>		<b>10,071,084</b>
<b>(D)前期繰越損益金</b>		<b>491,354,312</b>
<b>(E)解約差損益金</b>	△	<b>1,446,302,032</b>
<b>(F)追加信託差損益金</b>		<b>2,475,168,257</b>
<b>(G)合計(C+D+E+F)</b>		<b>1,530,291,621</b>
次期繰越損益金(G)		1,530,291,621

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。